

ゆるキャラによる今治地域のブランド化

“バリィさん”の挑戦

支援機関：今治地域地場産業振興センター

支援内容：新たな経営手法への取り組み支援

支援区分：知的資産経営

第一印刷 株式会社



【企業概要】

社名／第一印刷 株式会社
代表者／代表取締役 西原 透
業種／印刷・ネット・クリエイティブ
所在地／今治市喜田村1-6-40
資本金／30,000,000円
設立／昭和24年11月
従業員／63名（関連会社含む）

地域に生きる企業

ここ数年の間に、パソコンやインターネットの普及が進み、印刷業界の在り方も大きく変貌を遂げてきた。大量受注・大量納入の過去のルールは崩壊し、自らの創作や提案によって仕事を創造する時代となった。

創業者から経営を引き継いだ西原透社長は、変化の速い現代を先読みすることで、本業である印刷業

での技術やデザインの高度化に取り組む一方、今後の有力な情報伝達媒体として注目されるネット関連事業にも早期参入を果たした。

一方、地域が元気であることこそが地域企業にとっての生命線であり、自社単独の繁栄はあり得ないとの考え方は根強く、この考え方が“バリィさん”制作に大きく影響したことは間違いない。

“バリィさん”誕生

平成21年春、今治地方観光協会からの依頼もあって、当社が観光協会のホームページ用に今治をイメージさせるやわらかいキャラクターのデザインを手がけることとなった。いくつかのキャラクターが制作されたが、その中で“バリィさん”が採用され、観光協会のホームページ上に登場することとなっ

た。

平成21年夏、この“バリィさん”を売り込んでみよう！と、地元の土産物店を中心にグッズの販売を開始し、“バリィさん”が本格的にデビューすることとなった。

“バリィさん”の売込み

これまでほとんど無名であったキャラクターの売込みには、予想以上の困難が待ち受けていた。ファンシーショップなどで特に女の子に人気があると思われるようなグッズを制作したものの、いきなり商品を置かせてもらえる店舗も少なく、PRのため参加したイベントでは、知名度の低さに寂しい想いをすることも度々であった。

しかしながら、ブログやツイッターなど日々の地道な努力が報われ、今治地域の住民、愛媛県民、インターネット利用者など、少しずつ“バリィさん”のファンは増加していった。これに伴って、商品を置かせてもらえる店舗も今治地域⇒東予地域⇒中予地域へと拡大、イベントでも“バリィさん、!!”と声がかかるといったようになった。

人気の “バリィさん”

社をあげてPR活動を行ってきたが、関係者が驚く事態が起きた。

1つ目の出来事は、真夏の祭り『今治おんまぐ』での“バリィさん”踊り隊のメンバーを募集したときのこと、県内外から応募が殺到し、数日のうちに100名を超え、急きょ募集を打ち切ることとなったのである。

2つ目の出来事は、“バリィさん”携帯ストラップだ。ファンの要望もあって、売れ残り覚悟で制作したが、3,000個が僅か1週間で完売してしまったのだ。商品を販売する店舗からは勿論のこと、インターネットのブログや口コミで知ったファンからの問合せが殺到し、うれしい悲鳴となった。

正に、人気の“バリィさん”である。

“バリィさん” 関連グッズ

自社の商品としては、携帯ストラップ・タオルハンカチ・ノート・メモ帳・クリアファイル・シール・付箋・卓上カレンダー・ハガキなど。

他社との共同商品としては、タオル・お酒・コーヒーマグ・ケーキ・ふりかけなど。

また、非売品として、毎月取引先へ無料配布しているカレンダー（A2サイズ）、ホームページからダウンロード出来る壁紙などがある。

これまでの幟や立て看板に加え、着ぐるみも制作され、より可視化された。

“バリィさん”の人気の秘密

次の点が挙げられる。

①地場産業が織り込まれていること（コンセプトが明確）

体⇒焼き鳥のトリ

頭のクラウン⇒来島海峡大橋

腹巻⇒今治タオル

財布⇒船のガマ口

言葉⇒今治弁



②不明な点が多いこと（個人の想像の域が広い）

性別・年齢⇒不詳 身長⇒150cm 体重⇒150kg 胴回り⇒150cm

声⇒聞いた人はいない 性格⇒のんびり・やさしい（一度しか怒ったことがない）

③デザイン

見ていると癒されるような、不思議なデザイン。

④戦略

効果が高かった戦略は、無料配布のカレンダーとパソコンや携帯電話の待ち受け画面の壁紙配布、さらにブログやツイッターできめ細かく情報発信をしてきたことである。

いくら印刷やネットが本業であるとは言え、毎月の負担は発生するが、継続してきたことは大きい。

⑤第一印刷株式会社の本業と区分されていること

“バリィさん”の関連グッズやホームページを見ても、第一印刷株式会社の名前は出てこない。

名実ともに、“バリィさん”は商売の道具ではなく、オリジナルキャラクターとして存在しているところに値打ちがある。

今後の“バリィさん”

平成22年11月19日（金）には、今治地方観光協会の観光大使第1号に任命される。益々、活躍の場が広がっていく。



観光大使任命式にて

中小企業応援センター事業専門家派遣概要

日を追って知名度が高くなっていく“バリィさん”の本来の目的やイメージを守っていくため、知的財産権の専門家を派遣した。企業様、専門家、当財団が協力して現状把握に努め、将来発生が予想されるリスクに対応すべく、有効かつ具体的なライセンス使用方法の明文化を目指した事業である。

専門家派遣実施状況

第1回 現状把握と整理（キャラクター使用状況・知的財産登録状況）

第2回 今後の展開と対応事項抽出

第3回 法律に沿ったルール作り（ライセンス契約書・念書・社内規定など）

専門家実施事項

- ・現在のキャラクター使用状況と知的財産登録状況を整理した
- ・整理した内容を基礎として、今後の方針（展開予想）を可視化した
- ・叩き台となる文書を企業様が能動的に作り込みをされ、それに対して、法律的な見地からのアドバイスをを行った
- ・法律的な部分に加え、知的財産権の運用面でのメリットやリスクを具体的に説明、より実践的な文書作成を支援した

コーディネーター実施事項

- ・当社と専門家が、より近い立場で話し合いが出来るよう配慮した
- ・当社、専門家の双方との連絡を密にし、派遣当日の時間が有効に使用されるよう補助した

派遣の効果

- ・専門家派遣のタイミングも重要なポイントであったが、当社のニーズに沿った支援ができた
- ・ライセンス契約書に加え、新設の『着ぐるみ』の使用方法など、トータル的な支援となった
- ・キャラクター展開に関する基本的な事項が整理され、今後の展開に対するリスク管理体制が構築された

支援に携わった専門家の声

3回の訪問支援により、「バリィさん」の権利関係が明確化され、しっかりとしたライセンス契約書サンプルが作成されました。

企業様が主体的にキャラクタービジネスに関するノウハウを吸収されたことで、ライセンスビジネス実施上の留意点について効果的なアドバイスが出来ました。

今後も十分に自立され、継続的に「バリィさん」によるキャラクタービジネスを展開されるものと確信しています。



専門家 相原正

拠点を利用した事業者の声



代表取締役 西原 透

今治地方観光協会様とのご縁の中で生まれた「バリィさん」を当社のオリジナル・キャラクターとして多方面に展開し、地元が元気になるとともに当社の本業である印刷の分野においても少しの幅が広がればい

いな、との思いからグッズの販売を開始しました。

販売して下さる店舗も徐々に増え、ブログやツイッターを利用して担当者が毎日情報発信している中で、幸いにもマスコミ各社に取り上げていただき、少しずつ知名度が上がってきたように思います。

著作権については、実際に創作したデザイナーと相談し、会社の財産として商標権を登録することとし、平成21年8月19日付けで商標登録証をいただくことができました。知名度が上がるにつれて地元企業とのコラボレーションで新しく「バリィさん、

を使ったものを商品化していく中で、当社の権利保護のためきちんとした使用許諾契約の書式が必要になってきました。さらには「着ぐるみ」の制作を契機に、その出演や貸し出しに関する基準作りも必要に迫られてきました。一般的な契約事項に関する知識は少しはありましたが、キャラクターとか著作権に関する事項については全く知識がなく困っているところに本当にタイミングよく今治地域地場産業振興センターの常務理事である大川様から声をかけていただきました。弁理士の相原先生と一緒に、色々なアドバイスをさせていただきました。

お二人の丁寧な資料収集と熱心なご支援のおかげできちんとした「キャラクター等使用許諾契約書」を作成することが出来ました。今後はさらに広範囲に「バリィさん」を認知してもらえるように頑張るつもりですが、不測の事態が起きるかもしれません。今後ともご支援をいただけますよう、心から願っております。

Staff Voice

企業様の方向性と当方のご提案が合致した支援事例でありました。

専門家である相原先生のタイムリーなアドバイスに対して感謝しますとともに、西原社長・西原常務の積極かつ真剣な取組姿勢に対して敬意を表します。

今治地域で生まれた「バリィさん」は、近い将来、必ず全国でも人気のキャラクターになるものと確信しています。いつの日も変わらず、地元やファンの方々に親しまれ、愛され続ける存在であってほしいと思います。



コーディネーター
大川 徹